【火山砂防事業】
大分県別府市大字南立石　境川水系境川
（べっぷし　みなみたていし　さかいがわ　さかいがわ）

○事業目的

当該箇所は大分県中部の別府市に位置し、保全対象として人家48戸、老人ホーム2戸、 第1次緊急輸送路である主要地方道 別府ーの宮線、大分自動車道を含む土石流危険渓流である。

本渓流は平成28年熊本地震（平成28年4月16日発生）により山腹崩壊が多数発生しており、その崩壊土砂が不安定な状態で多量に渓流内に残されている。

境川は流域が広く、次期出水時には本川を含め、他支川の渓岸浸食等により、土石流による再度災害をうける危険性がある。

そのため、火山砂防事業により流域全体を考慮した砂防堰堤を設置し、人家等の保全を図る必要がある。

○箇所概要

保全人家：人家48戸

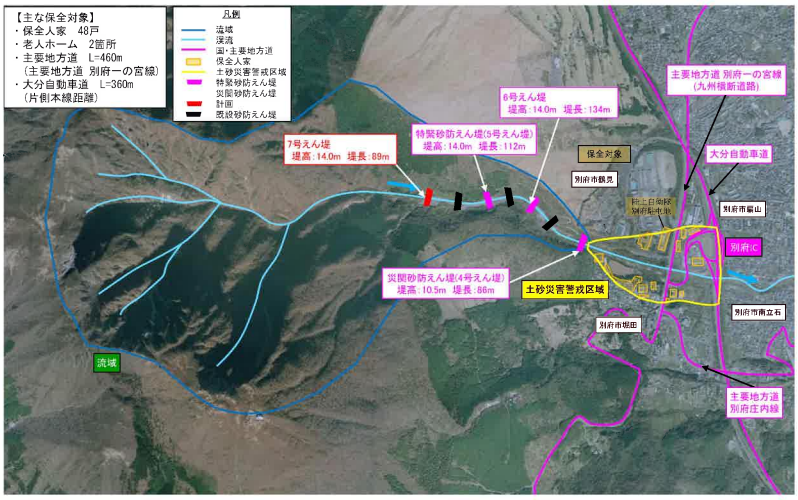
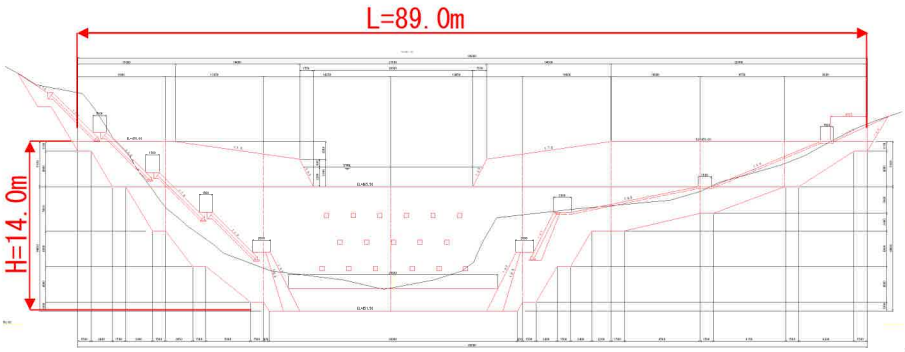
要配慮者利用施設：一燈園（いっとうえん：24H、収容人数：90名）

年輪（ねんりん：24H、収容人数：37名）

主要地方道 別府ーの宮線（L=460m）、大分自動車道（L=360m）【第1次緊急輸送路】

実施内容：砂防堰堤　1基

全体事業費：470百万円（R8～R12）

土砂災害警戒区域等の指定状況：H25.3指定済

荒廃率：16.6%